

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 187 4月号

2021年4月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)



読書と私 No.177

「息子と図書館」

龍野町 馬場 清喜

息子が初めて龍野図書館を訪れたのは、図書館で企画している「えほんのじかん」に参加するためでした。そこでわらべうたをしたり、絵本を読んでもらい、『おおきなかぶ』と一緒に聞いて楽しんだことを思い出します。家にも絵本は何冊もあるのですが、司書さんに薦めていただいた「おたすけこびとシリーズ」が特に大好きで、行く度に本棚で探していました。無いとがっかり。いつ返却されるのかと司書さんに確認するようになり、顔見知りになると積極的に自分から話しかけて本を探すようになりました。

一緒に本を探すことはとても楽しく、私が絵本のコーナーで何を借りようか悩んでいると、どこから持ってきたのか分厚い図鑑を抱えて立っていることもありました。一緒に選んだ『ネコのタクシー』、司書さんに薦めていただいた『番ねずみのヤカちゃん』などは、息子が本のあらすじや感想を一生懸命話してくれた思い出の本です。小学生になり、少し難しい物語を読ませてみようかと思っても、息子はその時々で興味のあるジャンルばかり選んで、私の薦める本には反応がイマイチ。けれど司書さんが薦めてくださる本は素直に借りて帰り、家へ帰ってもちゃんと読んでいたので驚きます。薦めてくださるジャンルも幅広く、息子の興味も広がり読んだ分だけ吸収していく様子を見ると、一緒に図書館へ通って良かったなと思います。

図書館と司書さんのおかげでずっと本好きな息子。これからも息子がどんな本を読んで成長していくのかを楽しみに、今後も図書館を利用していきたいと思います。



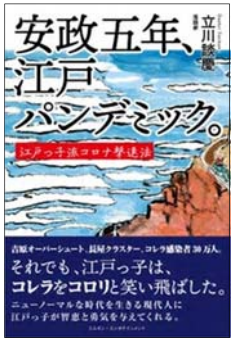
『おおきなかぶ』

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

A・トルストイ 再話 内田 莉沙子 訳
佐藤 忠良 画 福音館書店

『安政五年、江戸パンデミック。～江戸っ子流コロナ撃退法』

立川 談慶 著 ソニー・ミュージックエンタテインメント 238ページ 2020年8月刊



安政五年、コレラによる感染爆発が起きた。100万都市の江戸で約30万人の死者を出す災禍のなか、江戸庶民は、いつもの日常を生きる。本書は落語家である著者が、当時の江戸っ子の姿から、現在のwithコロナ時代を生き抜く知恵とヒントを読み解いていく。

コレラは、発症後2～3日で死んでしまうことから「コロリ」と呼ばれていた。怖い流行病であることに間違いないが、いったん軽めの言葉に置き換えて、惨状を柔らかに受け止めようとした差配に江戸の柔軟性を見出す、と著者は述べる。またこの頃、虎と狼と狸が合体した「虎狼狸（コロリ）」というユーモラスな姿をした妖怪の戯画が描かれており、これは「この怖い疫病ですら笑ってやるぜ」という心意気で、これが大きな免疫力だったのではないか、という。

本書には、古典落語に登場する心が折れない面々が紹介される。困った人を放っておけない平助と火消しの鉄五郎の「人情八百屋」を紐解きながら、共同体の相互扶助や負担の分散力について述べる。また昨今の自粛警察などコロナ禍で起こっている不寛容さに触れ、「笠碁」や「百年目」という^{はなし}から浮かび上がる、相手を思う心のあり様や許容について、落語家ならではの視点を示している。軽妙な語り口の根底には、深い人間洞察と人への温かいまなざしが流れており、それが本書の魅力である。

現在、私達は新型コロナウイルス感染症がもたらす厳しい現実と直面している。だが、今より科学も情報も発達していなかった時代であっても、過酷な厄災をたくましく、粋に生きてきた日本人の精神は、きっと後の世の私達にも受け継がれているはず。読後は、どこか心も軽やかに、令和のこのコロナ禍を乗り切る勇気が湧いてくる。

(新宮図書館 岡村)

トピックス

2021年・第63回 こどもの読書週間

※申込、問い合わせは各図書館まで

4月23日(金)～5月12日(水)

標語:「いっしょに よもう、いっぱい よもう」



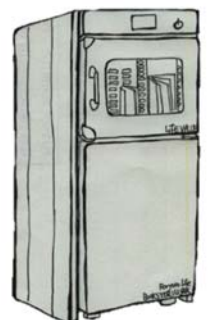
「こどもの読書週間」は、子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、昭和34年に誕生しました。この機会にぜひお子さん、お孫さんと一緒に図書館にお越しください。

Q.「こどもの読書週間」の期間はなぜこの期間なのですか？

A.もともとは、「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日に期間を延長しました。この期間は、読書に関する様々な記念日やその関連イベントが集中して開催されます。

図書除菌機を自由にご利用ください！

1月に導入した図書除菌機について、利用者の方ご自身で使用していただけるようになりました。使用法は図書除菌機に掲示してあります。使用法が分からないなど、お手伝いが必要な方はお気軽にカウンターまでお伝えください。故障の原因となりますので、図書館の資料以外での使用はご遠慮ください。



『わたしとあそんで』

マリー・ホール・エッツ ぶん／え よだ じゅんいち やく 福音館書店



女の子が原っぱへ遊びに行くとき、朝ごはんを食べているばったを見つけました。「ばったさん、あそびましょ。」とつかまえようとすると、ばったはぴょんと逃げてしまいました。

次に、じっとしているかえるを見つけましたが、つかまえようとすると、はねて行ってしまいました。そのあと出会ったかめも、りすも、かけすも、うさぎも、へびも逃げてしまって誰も女の子と遊んでくれません。そこで、女の子は仕方なく、池のそばの石にこしかけて、音を立てずに、みずすましを眺めていました。

すると、ばったが戻ってきて、草の葉に

とまりました。かえるも戻ってきて、女の子のそばにしゃがみました。かめも、りすも、かけすも、うさぎも、へびも、みんな戻ってきて、もう誰も女の子を怖がって逃げたりしません。しげみの中からは、しかの赤ちゃんも出てきて、女の子を見つめました。息を止めて動かずにいると、しかの赤ちゃんは近寄ってきて、ほっぺたをなめてくれました。

最後の場面で、女の子が優しく動物たちとほほえみ合いふれあう姿は、静かな温かさに包まれています。素朴で優しいタッチの鉛筆画で描かれた女の子の表情からは、みんなで一緒に遊べた喜びが存分に伝わります。読んであげるなら3歳くらいから。

(新宮図書館 山田)

『シェパートン大佐の時計』

フィリップ・ターナー 作 神宮 輝夫 訳 岩波書店



10歳のデイビドは、大工の父親と2人暮らしです。仕事場には、おじいさんの代に修理を依頼された古い大時計が1台、今も引き取られないままありました。デイビドは、

修理の依頼主である、シェパートン大佐という人物について色々な想像を巡らせていました。

ある日、足が不自由であることを気に病むデイビドの元気を取り戻そうと、親友のアーサーとピーターが、聖歌隊を務める教会に忍び込み、屋根に登る計画を立てます。3人が、螺旋階段を進むうち、教会番のチャーリーじいさんに気配を感じ取られ、危うく逃げ込んだオルガンの内部で、古い新聞の切れ端を見つけます。

その切れ端の一部に『シェパートン大佐事件の評決』という記事を発見し、シェパートン大佐が、第1次世界大戦中、敵国の重大な秘密を握ったため、不運な死を遂げたという事実にとどり着きます。

やがて3人は、危機の迫った大佐が秘密を伝えるために、大時計の修理という手段を選んだことを突き止め、大佐が勇気ある立派な人物であったことを知ります。その後、3人は、大佐の墓を訪れる途中、泥棒と出くわしますが、それも見事に解決します。

最後まで油断できない展開ですが、大佐の偉業を解明したことで褒美をもらい、追悼式を執り行うところで安堵します。小学校高学年から。

(揖保川図書館 河部)



4月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳、保護者

17日(土)
11時～11時20分
『ちいさなねこ』他

揖保川図書館

【対象】3～4歳、保護者
10日(土)・17日(土) 10時30分～10時45分
『おなべおなべにえたかな?』他

新宮図書館 【対象】2～4歳、保護者

10日(土)・18日(日)・26日(月)
11時～11時20分
『おはよう ばんじい』他

御津図書館 ※時間が変更になりました。

【対象】1～4歳、保護者
11日(日)・18日(日) 10時30分～10時50分
『たまごのあかちゃん』他
【対象】5歳～
11日(日)・18日(日) 11時～11時20分
『アンディとらいおん』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

3日(土)・10日(土)・17日(土)・24日(土)
10時15分～10時45分
「おいしいおかゆ」他

揖保川図書館

10日(土)・17日(土)
11時～11時30分
「くわずにようぼう」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

9日(金)
10時～11時30分
『星の子』
今村 夏子 著

揖保川図書館

2日(金) 23日(金)
10時～12時 10時～12時
「年間計画作成」 『モモ』
ミヒヤエル・エンデ 著

御津図書館

16日(金)
13時30分～15時30分
『おひとりさまの老後』
上野 千鶴子 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館

8日(木) 10時～11時30分
総会(年間計画作成)



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

「こどもの読書週間」展示 やまわらう

春の山の明るい感じを、
「山笑う」といいます。
自然がテーマの絵本や、
外遊びの本など、春が来た
うれしさを感じられる
本を集めました。

【期間】4月28日まで

新宮図書館

さまざまな体験、 さまざまな人生

今月の特集は手記です。人は
みな、一度きりの人生を送り
ます。本を通して、他の人の
体験を知るとは、自分の人
生を豊かにしてくれること
でしょう。

【期間】4月28日まで

揖保川図書館

ペアのほん あつめてみました

夫婦やコンビの作家、セ
ットや連作などの本を紹介
します。対になるもの、
調和するもの、その組み
合わせを楽しんでみてく
ださい。

【期間】4月29日まで

御津図書館

見せる技 魅せる技

美しく魅力あふれる、
物づくりの世界が堪能
できる本を集めています。
伝統工芸の厳かな
雰囲気、真似したいけ
ど難しい職人の技…長
引くお家時間に彩を添
えてみませんか。

【期間】4月29日まで